

○申込書は、所定の封筒に入れ、所定料金の切手を必ず貼り、郵送にて申込みください。

3年8月 ポイント方式 公募 都営住宅使用申込書

令和3年8月 日
東京都知事 殿

私は、東京都営住宅条例に基づき都営住宅を使用したいので、申込みます。
なお、この申込書の記載内容が事実と相違するとき、又は申込者（現に同居し、又は同居しようとする親族を含む。）が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第六号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であるときは、使用予定者の決定を取り消されても異議ないことを誓約いたします。
また、許可の上は、申込者（同居する者を含む。）が暴力団員であることが判明したときは、速やかに住宅を明け渡すことを誓約いたします。

暴力団員であるか否かの確認のため、警視庁へ照会がなされることに同意します。

太線枠内のみ、必ず記入してください。記入事項の変更は、原則としてできませんので注意してください。
裏面の住宅状況申告書も必ず記入してください。車いす使用者世帯向住宅に申込みする方は、裏面左上の住宅状況申告書（車いす使用者世帯用）にも記入してください。

1 入居を希望する地区番号を記入してください。1か所のみ申込み可能です。

1世帯で2通以上の申込み（重複申込み）は、すべて無効となりますので、注意してください。
申込地区によって、入居できる人数が異なりますのでご注意ください。

申込地区番号

※5桁で記入してください。

2 「申込区分」を記入してください。（該当する申込区分の番号をひとつだけ3桁で記入してください）

申込区分	番号	013	014	015	016	017	041	046
	申込区分	父 子 世 帯	母 子 世 帯	高 齢 者 世 帯	心 身 障 害 者 世 帯	多 子 世 帯	中国残留邦人 支援給付受給世帯	特に所得の低い 40歳以上の世帯 車いす 使用者世帯

3 申込者について記入してください。なお、この方が都営住宅入居後の名義人となります。

申 込 者	郵便番号	〒-			電話番号	平日の日中に連絡のつく電話番号		都内居住年数	
	現住所	東京都						現住所を含めて都内に継続して居住している年数を記入してください。 4年末満の方は月数も記入してください。	
	フリガナ					※建物名まで記入してください。		性別	生年月日
	氏名	氏		名				男	大正・昭和・平成 年 月 日
	フリガナ							女	満 () 歳
	日本での通称名がある方	氏		名					

通知は通称名あてに発送します

4 上の3の方が外国人である場合、記入してください。

在留資格		在留期間	年 月 日 から 年 月 日		
------	--	------	----------------	--	--

5 上の3の方の現在の同居親族の数と、都営住宅に入居しようとする世帯員の人数を記入してください。

現在、申込者を含め、

人

で暮らしており、都営住宅には

人

（下の6に記入する申込者を含めた合計人数）で入居する予定です。

〔職業欄の例〕

会社員・パート・アルバイト・自営・年金・
休職中・無職・求職中・生活保護など

続柄番号表

続柄	番号	続柄	番号
夫	11	祖父	62
妻	12	祖母	63
未婚の夫	13	兄	71
未婚の妻	14	弟	74
子(男)	29	姉	81
子(女)	39	妹	84
孫	41	婚約者	15
父	51	その他	96
母	52		

※ポイント方式では切手を同封する必要はありません。

受付番号		切手	非該当理由C
公募区分	20210842	登録区分	1
実態調査後記入			
ポ イ ン ト 計 点	一		
	二		
	三		
過 密 度	四		
登録番号	点		

※この欄は、記入しないでください。

6 都営住宅に入居しようとするすべての世帯員について、記入してください。続柄を記入し、「続柄番号表」から該当する番号を選択し、（ ）に番号を記入してください。※必ずフリガナと、生年月日・性別をご記入ください。

入居人数	氏名 (フリガナ)	続 柄	生年月日	性別	年間所得金額	特別控除(○で囲む)	申込日時点での勤務先又は学校の名称及び所在地並びに勤務 (開業)開始年月日	職 業	
1	フリガナ 申 込 者	本人 (01)			20~25ページで計算 円	1 老人扶養 2 特定扶養 3 障害者 4 特別障害者 5 寡婦 6 ひとり親	所在地 名称 電話 ()	勤務 (開業)開始年月日 昭和 平成 令和	
2			大昭和 年 月 日生 () 令 (満 歳)	男 女	20~25ページで計算 円	1 老人扶養 2 特定扶養 3 障害者 4 特別障害者 5 寡婦 6 ひとり親	所在地 名称 電話 ()	勤務 (開業)開始年月日 昭和 平成 令和	
3			大昭和 年 月 日生 () 令 (満 歳)	男 女	20~25ページで計算 円	1 老人扶養 2 特定扶養 3 障害者 4 特別障害者 5 寡婦 6 ひとり親	所在地 名称 電話 ()	勤務 (開業)開始年月日 昭和 平成 令和	
4			大昭和 年 月 日生 () 令 (満 歳)	男 女	20~25ページで計算 円	1 老人扶養 2 特定扶養 3 障害者 4 特別障害者 5 寡婦 6 ひとり親	所在地 名称 電話 ()	勤務 (開業)開始年月日 昭和 平成 令和	
5			大昭和 年 月 日生 () 令 (満 歳)	男 女	20~25ページで計算 円	1 老人扶養 2 特定扶養 3 障害者 4 特別障害者 5 寡婦 6 ひとり親	所在地 名称 電話 ()	勤務 (開業)開始年月日 昭和 平成 令和	
6			大昭和 年 月 日生 () 令 (満 歳)	男 女	20~25ページで計算 円	1 老人扶養 2 特定扶養 3 障害者 4 特別障害者 5 寡婦 6 ひとり親	所在地 名称 電話 ()	勤務 (開業)開始年月日 昭和 平成 令和	
年間所得金額合計 (A)					円	特別控除金額 合計 (B)	26ページで計算 円	差し引所得金額 (A) - (B)	20~27ページで計算 円

所得基準を超える場合は
申込みできません。

7 申込者又は同居親族の所得税法上の扶養親族で、都営住宅に入居しない方がいる場合は、その氏名を記入してください。

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名

8 現在お住まいの住宅の状況について、記入してください。

住宅の種類	裏面住宅状況申告書 1 のとおり		家 賃	月 額
	(共益費、駐車場料金等を除く。)		裏面11のとおり 円	
間取り (1DK、2DK等と記載してください。)	裏面2のとおり	K・DK・LDK	左の欄のK・DK・LDKを除く部分の量数の合計	
※住宅が狭いことを理由とした、都営住宅等公営的住宅からの申込み及び世帯を分離する申込みの方のみ記入してください。			合計	裏面2のとおり 量
都営住宅に入居しようとする世帯員の中に、階段の上り下りが困難な方はいらっしゃいますか。○を付けてください。			※住戸専用面積	m ²

9 都営住宅に入居しようとする世帯員の中に、階段の上り下りが困難な方はいらっしゃいますか。○を付けてください。

いません	1	歩行困難な人がいます	2	車いす使用者がいます	3
------	---	------------	---	------------	---

10 都営住宅に入居しようとする世帯員の中に、土地や建物の所有者はいらっしゃいますか。○を付けてください。

いません	1	います	2
------	---	-----	---

→ 「います」に○をつけた方は土地・建物の所在地と申込みされた理由を記入してください。

【住宅状況申告書附表】

- 11 生活保護又は「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」による支援給付を受給していますか。申込者を含め都営住宅に入居するすべての方が受給している場合「はい」に○を付けてください。
- いいえ

はい

0

1

- 12 住宅の所有者（借りている場合は貸主）等について、記入してください。

住宅の所有者（貸主）		住宅の所有者の住所	賃貸借契約書の有無
			・あり ・なし
契約書記載の住宅の借主		申込者と住宅の借主との関係	家賃を払っている方
		本人、親、子、兄弟、もと夫（妻）、知人、その他（ ）	氏 名 続柄 （ ）（ ）

- 13 都営住宅に入らないが、現在同居している人について書いてください。

氏 名	続柄	生年月日（年齢）	都営住宅に入らない理由
		大昭 平令 ・ （ 歳）	
		大昭 平令 ・ （ 歳）	
		大昭 平令 ・ （ 歳）	
		大昭 平令 ・ （ 歳）	

- 14 現在別居しているが、都営住宅に入ろうとする人について書いてください。

住 所			
住宅の種類	借家等の賃貸住宅、親族の家、自家、公営住宅、UR住宅、その他（ ）		
氏 名			電話番号
都営住宅に入居する理由			

- 15 家族の中に心身障害者がいる場合、記入してください。

氏 名	手帳の種類	等級等	交付または更新年月日等
	①身体障害者手帳	級	昭・平・令 年 月 日
	②愛の手帳	度	昭・平・令 年 月 日
	③精神障害者保健福祉手帳	級	昭・平・令 年 月 日
※年金証書の障害等級・診断書の種類			期限：平・令 年 月 日
氏 名	手帳の種類	等級等	交付または更新年月日等
	①身体障害者手帳	級	昭・平・令 年 月 日
	②愛の手帳	度	昭・平・令 年 月 日
	③精神障害者保健福祉手帳	級	昭・平・令 年 月 日
※年金証書の障害等級・診断書の種類			期限：平・令 年 月 日

※③の手帳の所持者で障害年金を受給されている方は、年金証書の障害等級等を記入してください。

- 16 家族の中に夫または妻と別居している方がいらっしゃいますか。

氏 名	別居している場合、その理由	児童扶養・育成手当
	離婚調停中・離婚協議中 その他（ ）	・受給しています ・受給していません

- 17 いちばん近い駅またはバス停からの地図

		線 駅) 下車
()	そこから歩いて (分)	
()	そこから (バス) の (行) に乗って	
()	(停留所) 下車、そこから歩いて (分)	

裏面もご記入ください。

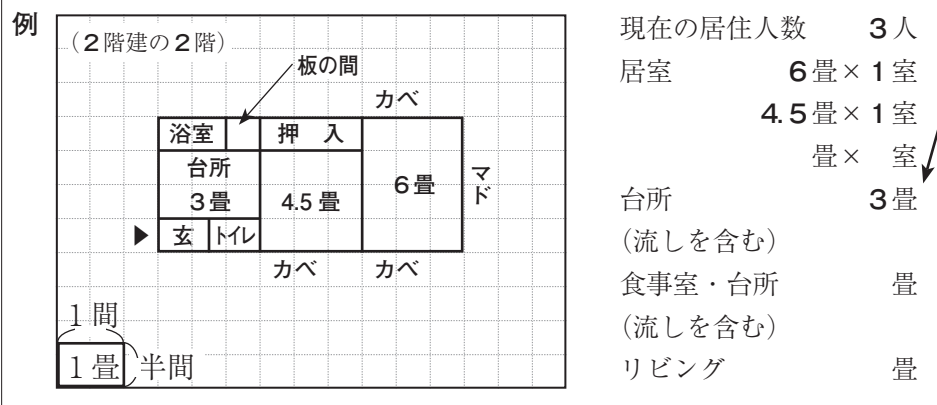
住宅状況申告書（車いす使用者世帯用） 車いす使用者世帯向住宅に申込まれる方は、必ず記入してください。

[illegible]

★ **ご 注 意** (16～19 ページの「書き方」も
参考にしてください)

- ◎ ボールペン等（鉛筆は不可）で記入してください。
- ◎ **項目 1、2、11 はかならず記入してください。**
- ◎ **項目 2 間取り図の記入の仕方**（畳 1 枚分を 2 コマで書いてください。）

- ・間取りは正確に記入してください。
- ・店舗、事務所を併用している場合は該当するところに、店舗又は、事務所と記入してください。
- ・借家で2階建ての場合は、1階と2階の間取りを記入してください。



- ◎ 項目 11
- ・家賃には、共益費、管理費、駐車場代は含みません。
 - ・親兄弟・知人の家に同居している方は、家賃負担している場合のみ記入してください。
 - ・家賃は、審査時に賃貸借契約書及び家賃通帳等で確認します。
 - ・自営業の方で、住まいと店舗・事務所が同一で、店舗・事務所分を確定申告の際に経費扱いとしている方は、令和2年分の確定申告書をみて、事業にかかわる地代家賃の年額と契約家賃年額を下記に記入してください。

自営業の方は、右欄もご記入ください。

事業にかかわる地代家賃は年額（	円）です。（駐車場代は除く）
契約家賃は年額（	円）です。
地代家賃は契約家賃の（	%）です。

3.8 ★住宅状況申告書の記載内容が事実と相違するときは失格となることがあります。

住宅状況申告書 あなたのお住まいについて、あてはまる項目の□をぬりつぶし [例■]、() 内にあてはまる数字等を記入してください。	
1	現在の住宅 (○で囲む) 自家、母子生活支援施設、一時収容施設、木造アパート、鉄筋アパート、借家、借間、 社宅、都営住宅、都民住宅、UR 住宅、公社住宅、その他 () (次にも該当する方は○で囲む) 親兄弟・知人の家に同居している、親兄弟・知人の家を借りている
2	現在住んでいる住宅の間取り図 (階建の 階) 現在の居住人数 人 居室 畳 × 室 畳 × 室 畳 × 室 台所 畳 (流しを含む) 食事室・台所 畳 (流しを含む) リビング 畳 1 間 1 畳) 半間 〔注意〕 親兄弟・知人と一緒に住んでいる人は、 家全体の間取りを書いてください。
3	☐ 現在住んでいる住宅に寝たきりの病人がいます。(氏名 病名) (注意事項) 寝たきりの病人とは所得税法上の特別障害者控除を受けている方等をいいます。
4	☐ 現在住んでいる家族に障害者がいます。(氏名 障害の程度 級 度)
5	☐ 他に部屋がないため、夫婦(親)と子供が一室で就寝しています。(歳、 歳、 歳)
6	☐ 他に部屋がないため、異性の兄弟が一室で就寝しています。(歳、 歳、 歳)
7	☐ 65 歳以上の高齢者だけで居住しています。(歳、 歳、 歳)
8	☐ 台所が共用です。
9	☐ 便所が共用です。
10	☐ 浴室がないため銭湯等に使っています。
11	☐ 家賃は月額 (円)、共益費・管理費は月額 (円)、合計 (円) です。 (駐車場代は除きます。)
12	☐ 建物の老朽化により、床、壁、天井等が著しく損傷又は汚損しています(自損を除く)。
13	☐ 建物の老朽化により、外壁の剥離・剥落・亀裂等の損傷がある又は金属部は腐食しています。
14	☐ 地盤沈下又は土台の腐食等により建物が傾き、倒壊の恐れがあります。
15	☐ 南側に近接して建物があり、台所を除く居室は午前又は午後 to 多少の日照があるだけです。 ☐ 窓側に近接して建物があり、台所を除く居室は日照時間が著しく少ない。又、採光も少なく、曇天等の時は、昼間も電灯を点けることが多いです。 ☐ 窓側に隣接して建物があり、台所を除く居室は一日中日照及び採光がなく、部屋が暗いので昼間でも電灯を必要とします。
16	☐ 周囲が木造の建物に隣接していて、火事や地震のときは危険な状態です。
17	☐ 住んでいる建物の外廊下が狭く、外階段が急だったりして、火事や地震のときには危険な状態です。 ☐ 住んでいる建物の一部に燃料や火薬などの危険物を取り扱っている店や倉庫があります。

